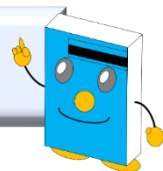


年間指導計画等を生徒の実態に応じて見直した結果、次のような授業となりました。  
「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動が設定されました。



### 調整・見直し後の指導計画

【指導の形態】 教科別の指導 数学	【単元(題材)名】 データを活用しよう	【時数】 4時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年・学級】 高等学園3年5組		
【単元(題材)の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の関係を割合で捉え、グラフで表すことができる。[知識及び技能]</li> <li>・データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取ることができる。[思考力, 判断力, 表現力等]</li> <li>・データの活用において、友達と協力して見通しを持ちながらデータを収集, データを考察しようとする。[学びに向かう力, 人間性等]</li> </ul>			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ※「With タブレ」を使用してグラフの作成方法を知る。	一斉指導	指導体制の調整・見直しがされています。 Step 5
1時間	2. グループのテーマに沿って方法を決め、データを収集する。 Iグループ: 月ごとの気温 IIグループ: 製品の売れ筋 IIIグループ: 学年の生徒の平均睡眠時間 スマートフォンの利用時間	グループ指導	Iグループ 数学 データの活用D (中学部 2段階)
1時間	3. 各自タブレット端末を使用して、グラフの作成を行う。 Iグループ: 折れ線グラフを作成し、最大値, 最小値を用いて天候に適した服装や持ち物を考察する IIグループ: 棒グラフ, 円グラフを作成し, 売上げを考察する IIIグループ: 度数分布表を作成し, テーマに適した代表値を判断し, 考察する	グループ指導	IIグループ 数学 データの活用D (高等部 1段階)
1時間	4. プリントして, 校内に掲示したり, 配布したりする。 5. 授業を振り返る。		IIIグループ 数学 データの活用D (高等部 2段階)
	生徒の実態に応じて, 全員が十分に学べる学習活動に調整・見直しがされています。 Step 2・4・5		段階の調整・見直しがされています。 Step 3
【単元(題材)の評価規準】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに合わせてデータを収集し, グラフで表すことができている。(知識・技能)</li> <li>・テーマに合わせて, 問題を解決するために適切なグラフを選択してグラフを表すことができている。(思考・判断・表現)</li> <li>・データの活用において, 友達と協力して見通しを持ちながらデータを収集, グラフを考察し, 問題を解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>			

※「With タブレ」宮城県総合教育センター 令和4年度専門研究 教育の情報化グループ 研究成果物